

「CIPHERON Standard X」Quick Reference

「CIPHERON」は“自分の情報を保護するための自己暗号化”と“他者とやりとりするための暗号化”ができます。
クイックリファレンスではこれらの操作に必要な手順を簡単に説明します。

初期設定

「CIPHERON Standard X」の初期設定です。

自分用の暗号化

自分だけが開ける暗号化ファイルを作成します。

復号化

暗号化ファイルを復号化します。

自動暗号/復号

ソフトの起動/終了時などに特定のフォルダを暗号化/復号化する機能です。

公開鍵の登録

他人宛てに暗号化をする際に必要な操作です。

他人宛の暗号化

他人宛てにファイルを暗号化します。事前に公開鍵の登録が必要となります。

詳しい操作や、ソフトのインストールや起動方法などについては製品ホームページ(<http://www.chaosware.com/vsc-p2p/>)のヘルプをご覧ください

初期設定

- ※ 詳しくはオンラインヘルプをご覧ください
- ※ 鍵管理フォルダは、必ず USB メモリなどの外部記憶装置に保存してください

公開鍵・秘密鍵ペアの選択

公開鍵・秘密鍵を管理するフォルダを選択してください。

初回起動時に“鍵管理フォルダ”をまず選択します。
“鍵管理フォルダ”を選択したら[OK]をクリック

鍵の生成ウィザード

内容をよく確認し、[次へ]をクリック

鍵に名前をつけます。ファイル名を入力してください。
入力が済んだら[次へ]をクリック

鍵の持ち主の名前とEメールアドレスを記入します。
入力が済んだら[次へ]をクリック

鍵の持ち主:
あなた

Eメールアドレス:
anata@chaosware.com

内容をよく確認し、[完了]をクリック

Cipheronへようこそ!

以下の内容で鍵セットを登録します。

公開鍵ファイル名: anata.vpub
相手に配布するファイルです。
ファイルをやり取りしたい相手に送信してください。

秘密鍵ファイル名: anataPrivate.vpri
自分が持っている鍵ファイルです。
誰にも送信しないで自分で管理してください。

自己認証鍵ファイル名: anata)anata-auth.vpub
自分専用で暗号化するための鍵ファイルです

※ ファイル名をエクスプローラなどで変更しないで下さい。
名前を変更すると暗号化・復号化ができなくなります。

初期設定終了

「CIPHERON Standard X」Quick Reference

自分用の暗号化

※ 詳しくはオンラインヘルプをご覧ください

暗号化したいファイルをミニ工房へドラッグ&ドロップ

名前	E-mail
あなた	anata@chaosw...

このボックスに自分の名前があることを確認し、[暗号化後保存]をクリック

自分用の暗号化終了

復号化

※ 詳しくはオンラインヘルプをご覧ください

※ 復号化は、自分専用のファイルであっても、他人から送られてきたファイルであっても操作方法は同じです

復号化したいファイルをミニ工房へドラッグ&ドロップ

復号化終了

「CIPHERON Standard X」Quick Reference

自動暗号/復号

※ 詳しくはオンラインヘルプをご覧ください

※ 自動暗号化は、下記のいずれかのときに行われます

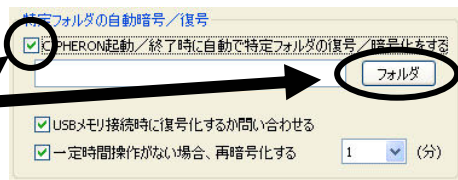
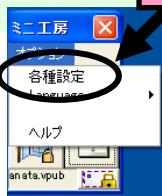
- ① ソフトが終了される
- ② 起動中に鍵管理フォルダのある USB メモリが PC から抜かれる
- ③ PC の操作を一定時間行わない

※ 自動復号化は、下記のいずれかのときに行われます

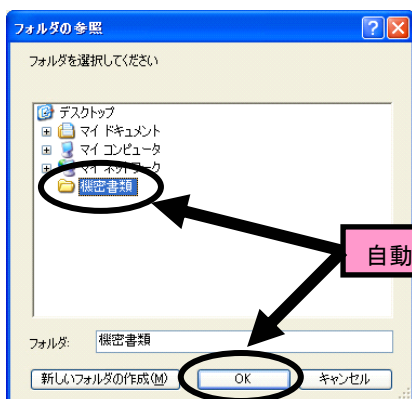
- ① ソフトが起動される
- ② 起動中に鍵管理フォルダのある USB メモリが PC に接続される

※ 自動暗号化により出力された暗号化ファイルは履歴管理が行われません

オプション→各種設定をクリック



チェックを入れ、[フォルダ]をクリック

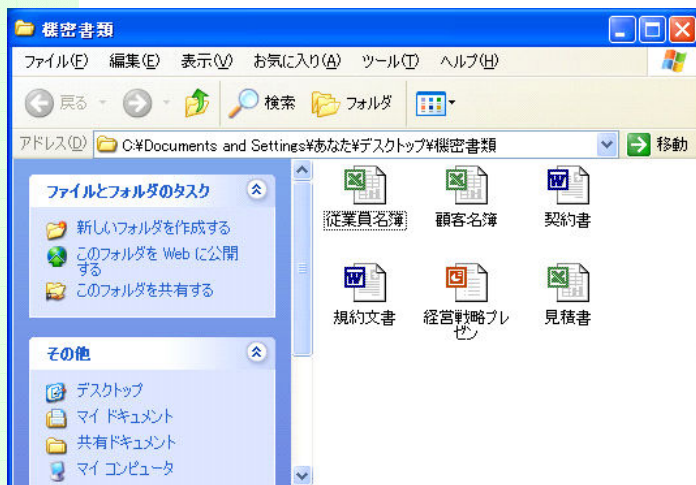


自動的に暗号化/復号化したいフォルダを選択して[OK]

自動暗号/復号設定終了

USB メモリを抜く
(自動暗号化)

USB メモリを挿す
(自動復号化)

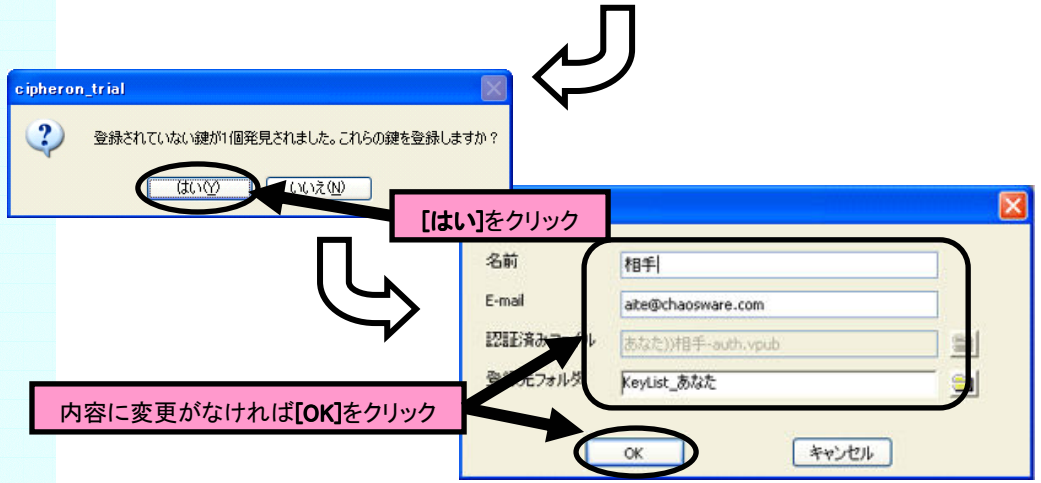
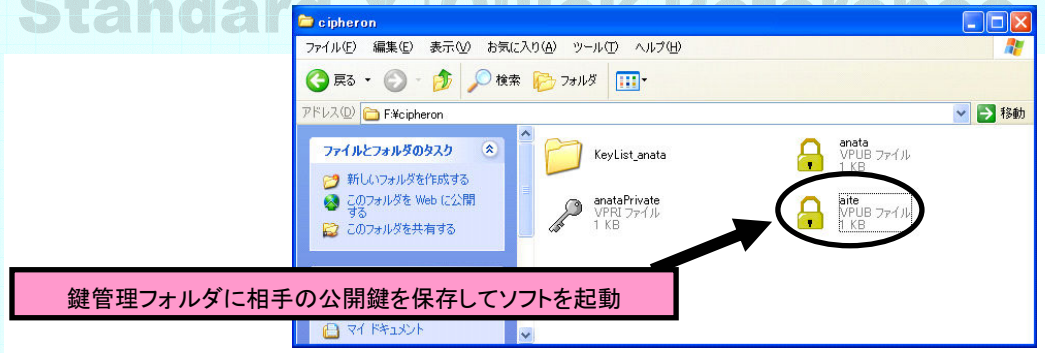


公開鍵の登録

※ 詳しくはオンラインヘルプをご覧ください

※ 鍵管理フォルダに公開鍵がない場合、手動登録となります。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください

※ 自動的に登録が始まらないときは、公開鍵の保存場所を確認した上で、一度ソフトを終了し、ソフトを起動しなおしてください



公開鍵の登録終了

他人宛の暗号化

※ 詳しくはオンラインヘルプをご覧ください

※ 暗号化の相手に自分の宛先を外してしまうと、自分で復号化できなくなります

